

2023年2月7日発行

23-06号

（http://www.jremnant.com/）

現場から（最近のニュースから）

**やりたいことは**

立春が過ぎ、まだ寒いのですが、着実に春は近づいています。春には、新しいことが始まる人が多くおられるでしょう。苦しい時期を乗り越えて、やっと入った学校や職場で、これからなにをしていくか思い描いている人もおられることでしょう。これからがスタートです。そのとき、あなたは本当になにをしたいのかと問われて、答えることはできるでしょうか。

流れ星に願いごとをすると、その願いが叶うのは、流れ星がか叶えてくれるからではないという記事がありました。流れ星が流れる瞬間に出て来る願いごとなら、いつもどこでも、そのことを考えているはずで、そのように考えているからこそ、その願いごとが成就するのだということです。脳学者の中野信子さんが、ご自分の著書を簡単にまとめて紹介しておられました。中野さんによると、砂漠にたった一本立っている看板に、なぜか頻繁に衝突事故が起こることがあるということです。砂漠だから、なにもないのに、なぜそこにぶつかるのかというと、運転手がその看板を見つめるからだそうです。車は運転手の視線が向くほうに行くので、運転手が看板を見ていると、ぶつかってしまうということです。そのように、人間は自分の見ている方向にしか進んでいかないと、言われます。また、人間は、目標を定め、そのことをずっと考えている中で、そのためにどうすればよいかという知恵が生まれるということです。ただし、その目標が自分が心底から望んでいないことで、だれかと比べたり、だれかに言われたから持っているものなら、その方向に向かって一直線に進むことはできないと言われています。中野さんは「人間は、本当に自分がやりたいことなら、自然にそれを達成してしまうものなのです。まずは、それを自覚していくことが大切です。」と言われています。（２月３日＠DIME＜願いごとを叶えてくれたのはあくまで自分！頭のいい人が実践している目標達成に向けた心構え＞より）

自分が一心に願うなら、それは成し遂げられるということは、中野さんだけではなく、多くの人が言っています。たしかに人間は、そうなる可能性を持っている存在です。では、いま、自分がいったいなにをしたくて、一心にがんばっているのか、言える人はどれくらいいるでしょうか。また、その目標を達成して、それでどうなるのかを知っている人は、どれほどいるでしょう。今までの歴史の中で、多くの人が、良い世界にするためにと、大きな目標を掲げて、がんばってきました。その結果、科学や文明は発展して、生活はしやすくなったと言えるでしょう。しかし、ほんとうに人間は幸せになったでしょうか。あなたが一心に願い、叶えたいと思っていることは、ほんとうに必要なことなのでしょうか。また、自分のやりたいことは分からないと思っている人もいるでしょう。どちらにしても、まず人間にはなにが必要なのか、そのことを知るなら、人間にほんとうに必要なことのために、一心に走ろうと思うようになるはずです。ほんとうに必要なこととは何でしょう。そのことについてお分かちしたいのです。

救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。

それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。

神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス･キリストです。イエス･キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してくださり(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス･キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。

もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス･キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス･キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを

認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の

神様として受け入れます。私の罪を赦してくださり、私を救ってくださったことを感謝

いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・

キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください